

公表

(保育所等訪問支援) 事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センターにじいろ		公表日 2026年 2月 20日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 体制 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	0	・間接的支援中心であるため、学校園で使用しているものを用いて支援している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・適切な支援体制がとれるよう、クール制を取入れている。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・専門職ミーティングで、定期的に業務改善や職務分担等について話し合っている。	・全職員が一人一人の業務内容を把握することは難しいが、検討する必要がある。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・月に一回専門職ミーティングを行い、他の専門職と情報共有し、より合理的に適切な支援ができるように心がけている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	・外部評価は行っていないが、適宜、三木市障がい福祉課より指導助言を受け、業務改善を行っている。	・兵庫県福祉サービス第三者評価の自己評価票を用いた自己評価を行い、業務改善に努める。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・市の研修会に参加したり、自立支援協議会で研修を行ったりしている。 ・外部研修にも参加している。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	・計画作成においては、利用者との面接を行い、ニーズを把握している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・支援計画の作成段階から、複数の担当者で作成に取り組んでいる。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	1	・保護者の意向を中心に作成した支援計画の目標をもとに開始前に学校園を訪問し、具体的な支援の方法について、担任等と共通理解を図っている。	・今後も継続して学校園の意向を支援内容に盛り込んでいく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・情報共有に努めている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・フォーマルなアセスメントやインフォーマルなアセスメントについては、学級担任や保育・授業担当者の所見などを聞く機会を訪問のたびに設定し、こどもの状況を確認している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・こども本人の状況、保護者の意向及び学校園のニーズに沿うよう個別支援計画を作成している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・定期的に訪問担当者のミーティングで保育所等訪問の支援計画及び支援状況について、情報共有を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・支援開始前の打合せは行っていないが、定期的に保育所等訪問支援の担当者が集まり、支援状況について情報共有を行っている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・報告書を供覧することにより行っている。	・訪問のたびに、振り返りの時間をとるよう時間設定を工夫しているが、繁忙期などは行うことが難しいことがあった。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	・訪問先の学級経営の考え方等を受け止めたうえで、実践可能な支援を計画、実施している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	・記録は毎回欠かさず所定の様式にまとめ、次回の訪問時および保護者への説明に活用している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・モニタリングを行うとともに、6か月を1クールとして利用者・保護者とともに保育所等訪問支援が引き続き必要かを検討している。	・保育所等訪問支援が終了した場合も、必要に応じて地域支援による訪問に移行する仕組みを確立していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者と共に訪問担当者が出席している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・訪問支援担当者と地域支援担当者が密に連携し、教育委員会の特別支援教育担当部局や保育担当部局、教育センターなどと連携することができている。	・保健、医療部局との連携については、その必要性がほとんどなかったが、状況に応じて具体的な連携を実施する。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・移行時にかかわらず、就園・就学を見据えた支援を心がけ、訪問先との情報共有と相互理解を図っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	0	・今年度、自立支援協議会子ども部会・分科会で保育所等訪問をテーマに情報交換会を行った。	・今後も引き続き参加したい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・保育所等訪問支援に加えて当事業所の児童については、送迎時などに支援場面や日常生活のようすなどを保護者と情報共有している。とりわけ、学校園で児童が積極的に活動できたときや個性が発揮できたときには、保護者に具体的に伝えられるよう心がけている。	・保育所等訪問支援のみ利用している場合は、保護者との情報共有は、毎回の訪問後の報告のみしか機会が持ちにくいのが現状である。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・保護者が相互に自由に情報共有できる「おしゃべり会」を行ったり、ペアレント・トレーニング「わくわく子育てセミナー」を開催しており、「にじいろつうしん」やチラシで案内している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・契約時や改正時には丁寧な説明を心がけている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	・管理職および学級担任、特別支援教育コーディネーター等に対して、訪問支援の依頼と具体的な支援内容等について説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・こどもと保護者の意思尊重等を常に意識し、保育所等訪問支援計画が作成できるよう、モニタリングや学校園との連携時に、こどもや保護者の意向の確認を行っている。	
	30	保育所等訪問支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	・保育所等訪問支援計画を示しながら、訪問の目的と内容について説明し、保護者の同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・訪問のたびに訪問記録を作成し、対面にて保護者に訪問内容を説明しており、その際に、家庭でのようすや現在の課題、将来に向けて不安な点などを聞き取って、必要に応じて相談の機会を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・保護者が自由に情報共有できる「おしゃべり会」を行っており、「にじいろつうしん」で案内している。	・きょうだい同士で交流する機会については、必要性は感じているが実施できていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談に対しては、児童発達支援管理責任者をはじめ、訪問支援担当者や地域支援担当者が迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・毎月「にじいろつうしん」を発行し、事業所の活動の概要を紹介している。 ・三木市のホームページ内に当事業所のWebページを設けている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・市の個人情報保護に関する研修を職員が受講し、それに準拠して、個人情報の保護に努めている。	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・事業全般において重視して取組んでいる。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	・保育所等訪問支援に係る打合せや振り返り時だけでなく、学校園での保育・教育活動などでの疑問点や相談などには、専門職が対応している。また、必要なときには気軽に相談できる雰囲気づくりにも留意している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	・学校園のスケジュールに合わせて時間設定しているが、都合をつけにくい時もしばしばあり、その際は電話とメールで情報交換している。	・行事等で学校園が繁忙な時期は、臨機応変に短時間の最低限の情報交換であったり電話やメール等で行ったりする場合があるが、できる限り時間設定する。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	・訪問記録を作成し、対面にて保護者に訪問内容を説明し、あわせて家庭でのようすなどを聞き取り次回の訪問計画の参考にしている。	・就業している保護者などの場合、毎回対面にて報告する機会を設定することが負担となってしまうことが課題であり、共有方法については検討の余地がある。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・三木市の個人情報保護のポリシーに準拠して、個人情報の保護に努めている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	・打合せや振り返り時だけでなく、日常の活動で専門的なアドバイスを求められたときには、気軽に電話等で相談できるように些細に感じられる話題であっても日常から情報交換している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・当事業所の通所サービスに準拠して行っている。また、学校園の感染症の流行状況や事故発生状況等に留意して訪問を行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全管理に必要な研修を職員が受講したうえで、事業所全体の取組の一環として行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・今年度の保育所等訪問支援におけるヒヤリハット事案は現在のところ発生していないが、事業所内の事例を全職員で共有し再発防止に留意している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・今年度、対応を必要とする事案は現在のところないが、研修会には必ず参加している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・今年度、身体拘束を必要とする事例はないが、研修会には必ず参加している。	